

Start !

「組込みソフトウェア技術者試験 クラス2」は、組込みシステム技術者が自己のスキルを可視化し、目標を設定するために受験する試験です。試験の申し込みから成績証明書を受け取るまでの、一連の流れを紹介しましょう。(編集部)



1. ネット経由で申し込む



試験申し込みは、社団法人 組込みシステム技術協会のWebサイト(<http://www.jasa.or.jp/etec/>)から行います。試験の予約方法をよく読み、希望する会場の空席状況を確認します。予約の途中で、練習問題を使ったチュートリアルが行えます。また、試験日を予約した日から最大2ヵ月の延長ができます。

組込みソフトウェア 技術者試験

クラス2受験のプロセス



8. 1ヵ月後から再受験できる



2回目の受験は、1回目の受験日の翌日から数えて30日目以降から受験できます。また、3回目以降の受験は、最後の受験日の翌日から数えて60日目以降から受験できます。

自分のスキルを把握し、スキルアップできるように頑張ってください。

7. 成績証明書が届く

写真2
成績証明書



協力 社団法人
組込みシステム
技術協会

約2週間～1ヵ月後に、成績証明書が郵送されます。成績証明書のほかに、証明書の見方や再受験についての案内、組込みソフトウェア技術者試験のパンフレットなどが同封されています(写真2)。

Goal !

2. 予約受付メールが送信される



予約が完了すると、「【アール・プロメトリック】予約受付メール(自動配信メール)」という題名の予約受付の確認メールが送信されます。そこには予約日時、試験日時、試験番号、試験科目、会場名、支払方法、変更およびキャンセル可能日などが書かれています。受験者は【予約確認、変更及びキャンセル】のURLから「確認書」を印刷し、試験会場に持参します。

クラス2とは?

「組み込みソフトウェア技術者試験 クラス2」は、組み込み技術に携わるエンジニアのための試験で、パソコンを使って行います。試験は毎日行われており、好きな日の好きな時間を指定できます。試験会場は、試験運営会社であるアール・プロメトリックのWebサイト(<http://www.prometric-jp.com/>)から選べます。3日前までに受験登録を済ませる必要があります。

受験料金は15,750円(税込)です。支払方法は、後払い(銀行やコンビニエンス・ストア支払いの請求書)とクレジットカード払いがあります。

6. 点数はせの場で分かる



試験が終わったら、画面上に点数が表示されます。途中退室の場合も、点数は表示されます。退室する際に、自分の点数や「技術要素」、「開発技術」、「管理技術」の分野別に自分のグレード(ABC評価)が記載されたスコア・レポートを受け取ります。

3. 当日持参するもの



当日必ず持参するものは、「確認書」と「本人確認用の書類」です。本人確認用の書類は、2種類必要です。運転免許証、住民基本台帳カード、パスポート、社員証のいずれかと、クレジットカード、パスポート、公立図書館・施設利用者カード、健康保険証、健康保険カード、住民票のいずれかです。パスポート1点だけでは受験できません。詳しくはアール・プロメトリックのWebサイトをご覧ください。

4. 会場には15分前までに



試験当日は、15分前までに試験会場に到着してください。本人確認の受付があります。服装は、普段着で構いません。

受付では、本人確認書(3項を参照)を明示し、ペンやメモ用紙などの入ったファイルを受け取ります。注意事項が書かれた用紙を渡されるので、よく読みましょう。バッグや携帯電話などの荷物は、会場備え付けのロッカーに入れます。

5. 試験中の注意

試験中はパソコンに向かって、脇目も振らず黙々と答えてください(写真1)。計算問題などで、メモしたいことがあれば、渡されたメモ用紙を利用しましょう。試験が終了時間より早く終わったら、終了ボタンを押して途中で退室できます。

協力 アール・プロメトリック株式会社



写真1
試験中の会場の様子

組み込みソフトウェア技術者試験に関する詳細な記事がp.135から掲載されています。併せてご覧ください。